

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名：頭頸部腫瘍におけるFDG集積と免疫微小環境の関連性
- ・目的：現在、PD-1/PD-L1抗体主体の免疫チェックポイント阻害剤は、悪性黒色腫、肺癌、腎細胞癌、頭頸部癌、悪性リンパ腫、大腸癌、乳癌、食道癌、胃癌など多くの癌腫で使用されており、高い治療効果を認めています。最近、腫瘍内糖代謝を反映するFDG集積がPD-L1発現と関連していることが、肺癌を中心に報告されています。本研究では、頭頸部癌でのFDG集積と免疫微小環境に関わるマーカーとの関連性を評価し、FDG-PETの頭頸部癌における免疫チェックポイント阻害剤治療における臨床的意義を検証します。
- ・研究期間：臨床研究IRB承認日～2025年6月30日
- ・研究対象：2018年4月1日～2023年5月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：カルテから、臨床情報(性別、年齢、現病歴、既往歴、癌の症状、治療歴など)を調査します。生検や手術時の組織ブロックを用いて免疫組織染色を行い、病理学的な結果も踏まえた解析を行います。

利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科 蝦原 康宏

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科 蝦原 康宏